

CARBONITE Ultra 60

Carbonite Ultra 60は、最も要求の厳しいライブプロダクションに対応するために設計された、新しいクラスのプロダクションスイッチャです。

Carbonite Ultraは発売以来、中規模のプロダクションスイッチャの性能と使いやすさの基準となっています。

では、本当に良いものをさらに良くするにはどうすればよいでしょうか？

それは、より大きく育てることです。

世界中のオペレータの心を掴んできたCarbonite Ultraの上に立つ、全く新しいクラスのプロダクションスイッチャ、Carbonite Ultra 60を紹介します。



用途

Carbonite Ultra 60は、従来よりも多くのI/Oを搭載し、最大のプロダクションスイッチャに代わる費用対効果の高い製品です。

最大12G-SDIで、60入力と25出力、そしてHDまたはUHDの3つのフルMEを提供するモジュラーI/Oボードを備えたCarbonite Ultra 60は、現在および将来の製作ニーズに応えます。

- ・ ニュースとスポーツ放送
- ・ 企業内施設、基調イベントなど
- ・ スポーツ、eスポーツ、ライブ イベント会場
- ・ 中継車とフライト パック

Carbonite Ultra 60の特長と効果

より良いものを: Carbonite Ultra 60は、HDまたはUHDで最大60入力、25出力が可能です。

このスイッチャはモジュール式の3RUフレームに組み込まれているため、少ない入出力数でスタートし、必要に応じて最大数にアップグレードすることが可能です。

実績: Carbonite Ultra 60は、驚異的なパフォーマンスと優れた信頼性を提供するように設計された新しいハードウェア プラットフォームですが、1RUのCarbonite UltraのDNAを共有しています。

プロダクションスイッチャ: Carbonite Ultraと同様に、新しいCarbonite Ultra 60プラットフォームは、フレームシンク、フォーマット コンバータ、マルチビューなどを搭載し、単純なレイヤやトランジションの枠を超えた機能を備えています。

フォーマットフレンドリー: SDからUHDまで、Carbonite Ultra 60はほとんどの主要なフォーマットとフレーム レートをサポートしています。HDRとWCGをサポートするCarbonite Ultra 60は、一緒に成長するのに最適なシステムです。

拡張性: オーディオのミキシングとプロセッシングの機能を、ライセンスを追加することで利用できます。

見慣れたものであること: Carbonite Ultra 60は、Carboniteシリーズの進化形ですが、最初からCarboniteの特徴であるオペレータに優しいツールセットを共有しています。

スペック



構 成	
ベースフレーム	12x4+1 I/Oマルチビュー
I/Oボード1枚付き	36x12+3 I/Oマルチビュー
I/Oボード2枚付き	60x20+5 I/Oマルチビュー
プロダクション マルチビュー	1
ミックス/エフェクト バンク(ME)	3つまで
ME毎の独立したキー レイヤ	6
ME毎のメディア/トランジション キー	1
MiniME バンク	4
MiniME 毎の独立したキー レイヤ	2
UltraScene レイヤ	8(4ペア)
MediaStore チャンネル	6(ビデオ+キー)
RAVEオーディオエンジン	14のステレオ ミックスを備えた最大48の割り当て可能なステレオ フェーダ
一部の機能はオプションです。詳しくはお問い合わせください。	
注:最初のソフトウェア リリースでは、HD/3Gフォーマットのみをサポートします。 SD&UHDフォーマットは2023年後半に利用可能になる予定です。	